



第203回 深田研談話会

後援：日本古生物学会

深田地質研究所では、「地質学およびその関連分野における先端的研究者と、地質・地質工学関係の、特に若手技術者との相互交流の場を設け、交流を通して応用地質学の実践と技術の向上を図る」ことを目的として、「深田研談話会」を開催しております。

日本の古生物学の歩みをふりかえる

矢島道子氏

東京都立大学 非常勤講師

講演概要 2025年、日本古生物学会が創立90周年を迎えます。そして、1874年にドイツのギュンベルが日本の化石を報告してから150年になります。日本の古生物学は西洋諸国と比べると少し遅れて出発しましたが、ぐんぐんと追いついて、現在は肩を並べています。化石とは何かを明らかにすることから始まり、化石から地層の堆積した時代や環境を明らかにすることが主流となり、そして化石自身を生物としてみて、その進化史をさぐるようになりました。最近の古生物学研究は、現在の生物の未来を導いているように見えます。



日本産の様々な化石。ペリスフィンクテス、ニッポニテス、ナウマンゾウの歯、タカハシホタテは東京大学総合研究博物館、フタバサウルスは国立科学博物館の所蔵標本。

日時 2025年1月17日(金)

15:00～16:30【14:30開場】

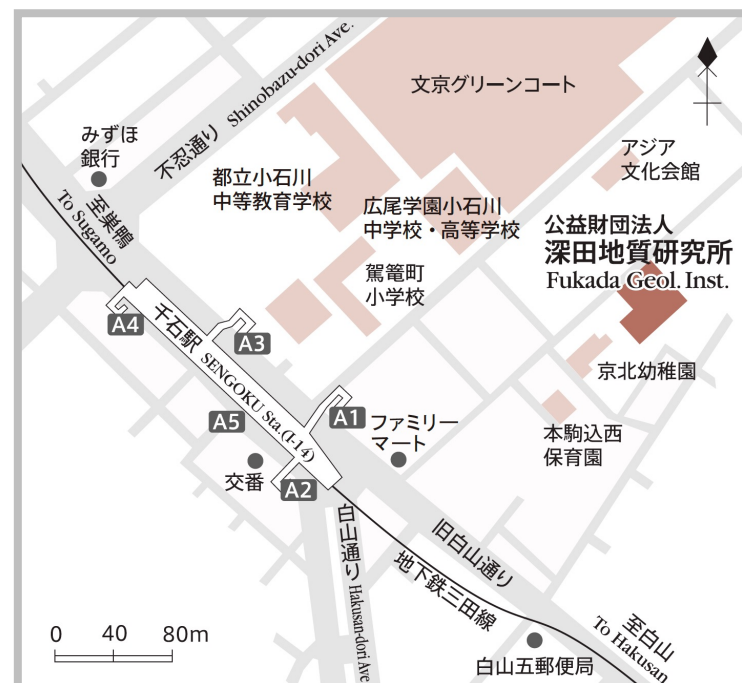
場所 深田地質研究所 研修ホール
& オンライン (Zoomウェビナー)

※会場とオンラインのハイブリッド開催

定員 会場参加:30名 (先着順)
オンライン参加:450名

参加費 無料

CPD単位 「深田研談話会」は、CPD履修実績として申請できます(1.5単位)



都営地下鉄三田線千石駅下車A1出口より徒歩3分

参加ご希望の方は、必ず事前に深田研ホームページよりお申込み下さい。

申込み期間：2024年12月6日(金)～2025年1月14日(火) 17:00 (定員に達し次第締め切ります)

本イベントに関するお問い合わせ先: fgi_event@fgi.or.jp

公益財団法人 深田地質研究所

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-13-12
TEL: 03-3944-8010 FAX: 03-3944-5404
https://fukadaken.or.jp

